

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	森田 陽一	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3698		事務事業名称	道路橋梁補修事業						短縮コード	経常	3698	臨時	3297
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	02	道路橋梁維持費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		道路法第16条，42条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
市道及び橋梁などの道路構造物を維持するため、損傷部分の補修工事を実施し、通行の安全を図る。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
道路などの構造物の老朽化の進行や大型車両等の交通量の増大により、補修箇所が著しく増加している。迅速な対応が求められている一方、応急的な維持修繕では対応しきれない状況にある。これに伴い事業費も増加している。又、今後は抜本的な補修の必要な箇所が増えることが予測される。						大項目（節）	02	道路						
						中 項 目	02	市道						
						小項目（施策）	02	一般市道の整備						
						細 項 目	02	市道の整備						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市が管理する道路									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 舗装道補修工事，小規模工事									
	※平成23年度に計画していること： 舗装道補修工事，小規模工事									
意図 （何を狙っているのか）	道路の機能を維持する									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	21年度	22年度		23年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	要補修整備件数	件	91	80	77	33			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	補修整備件数	件	91	80	77	33			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	整備率	%	100	100	96.3	100			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3698	事務事業名称	道路橋梁補修事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			市道及び橋梁等の施設は経年変化による劣化が進行しており、抜本的な改修の必要性の増加等の課題もあるが、現状のまま継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			市が管理する道路を良好に維持管理するために維持補修が必要であるため、経費の増加という課題があるが、事業成果の向上が図れる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市道及び橋梁等において大型車両の増加や経年変化による施設の損傷等に対する補修や修繕を速やかに実施するよう意見や要望がある。									

所属長コメント	社会資本ストックの維持管理・更新のため、アセットマネジメント手法による予防的な改善及び計画的な更新による維持管理に努め、安全性・信頼性を確保する必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									